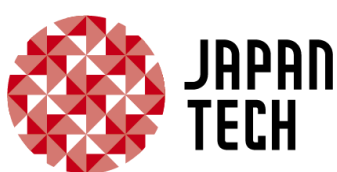


報道各位

2017年07月25日
株式会社大広
株式会社クリエイティブ・ヴィジョン
株式会社フィラメント

～ CES 史上初！「日本」を冠した企業出展ブースの販売を開始 ～
日本の技術力を世界に発信！新たなビジネスを生み出す「JAPAN TECH」
出展からビジネスマッチングまでトータルサポート。CES2018 からスタート



株式会社大広（代表取締役社長：落合寛司）は、2018年1月9日～12日の4日間、アメリカ、ネバダ州ラスベガスで開催される、CES（旧：Consumer Electronics Show）で、日本を冠した企業の共同出展ブース「JAPAN TECH」のサービスパッケージの販売を開始します。

同サービスは、CES 公認エージェンシーの株式会社クリエイティブ・ヴィジョン、株式会社フィラメントとの3社共同で企画・開発をおこなっています。

「JAPAN TECH」は、単独での出展や海外進出に高いハードルを感じる企業が、気軽にトライアルできる共同出展ブースです。米国特有の出展手続きから、展示のノウハウ、デモンストレーションまで、米国での出展実績を多数もつプロフェッショナルがサポートします。また、出展に留まらず、投資家や海外企業とのビジネスマッチング、国内外のプレスへのコミュニケーションまで、トータルサービスパッケージでご提供します。同サービスは、「日本の技術力を世界に届けたい」「テクノロジーの未来を担う日本企業が生まれてほしい」という想いから生まれました。2017年8月から説明会を開催し、出展企業の募集をスタートします。

また、「JAPAN TECH」の概要や応募方法についてご案内する“JAPAN TECH 公式サイト”を、2017年7月25日にオープンしました。同サイトでは、出展企業と展示内容のご紹介に加え、CES 会期中の最新情報や JAPAN TECH の様子を、皆さまへお届けします。

JAPAN TECH 公式サイト <https://ces-japantech.jp/>

弊社は、今後も、「JAPAN TECH PROJECT」の活動を通して、日本のテクノロジーの未来の開拓と育成に取り組み、社会とくらしの発展に貢献していくことを目指してまいります。

【リリースに関するお問い合わせ先】 株式会社大広 総務局広報部（長谷川） tel:03-6364-8601
【出展に関するお問い合わせ】 JAPAN TECH PROJECT 窓口（石丸） tel:06-7174-8499

2017年8月から東京・大阪にて

CES2018 JAPAN TECH 説明会を開催します！

「JAPAN TECH をもっと知りたい！ 出展を検討したい！」と感じて頂いた企業様を対象として、CES2018 JAPAN TECH の説明会を開催します。同説明会では、JAPAN TECH の概要や各サービスの詳細についてのご紹介と、応募方法や今後のスケジュール、費用についてのご説明を予定しています。出展をお考えの一般企業様向けの説明会と、コンペティションに参加を希望されるスタートアップ企業様向けの説明会を、東京、大阪にて、4 日間に渡って開催します。

<p>コンペティション参加 をお考えのスタートアップ企業様へ スタートアップ出展 説明会</p>	<p>JAPAN TECH 出展 をお考えの企業様へ 一般出展 説明会</p>
<p>2017年8月7日(月) 19:00~ in 東京 2017年8月8日(火) 19:00~ in 大阪 ※受付は18:30~開始予定です。</p> <p>ハードウェアスタートアップ企業※様限定で、リーズナブルに出展して頂けるサービスです。JAPAN TECH 事務局及び、特別審査員の審査を経て右の一般出展よりもリーズナブルにご出展いただけるサービスです。</p> <p>※主にスタートアップ支援を目的としてご準備しているプランのため、出展目的と企業規模（資本金、従業員数、設立年数）などを踏まえ、一般出展をご案内させて頂く場合がございます。</p>	<p>2017年8月4日(金) 19:00~ in 東京 2017年8月9日(水) 19:00~ in 大阪 ※受付は18:30~開始予定です。</p> <p>JAPAN TECH 内 10ft×10ft のスペースでの出展に加え、商談・ネットワーキングや PR や WEB サイト等でのコミュニケーションまで、フルサポートがセットになったパッケージサービスです。最新の技術を世界に発信したいとお考えの、あらゆる業種・業界の企業様にご参加頂けます。</p>

説明会についての詳しい情報 &
申込方法はこちら！！



<https://ces-japantech.jp/exhibit/>

《参考資料》



■ JAPAN TECH の 3 つの特長

〔特長 1〕

今からでも CES に出展できる！

“JAPAN TECH” 共同出展

会期中には次年度のスペースのほとんどが完売してしまう CES で、事務局の厳しい審査も無く、いまからでも出展が可能です。出展場所は、Sands Expo の 1 階の「Global Technology」エリア。投資家や有望な技術を探す企業で賑わうスタートアップエリアに隣接する一画です。他の出展企業と共に、日本の特色を示すことで高いプレゼンスを発揮できます。

〔基本サービスの内容〕

- ・10ft×20ft の JAPAN TECH 共同プレゼンテーションスペースの共有
- ・デモンストレーションでのバイリンガル MC の通訳サポート
- ・展示台の活用
- ・CES 参加チケット 5 枚配布

一般出展のみの付属備品

- ・32 インチモニターでの映像掲出
- ・商談セット（ハイチェア&ハイカウンター）の活用

※なお、基本パッケージには、輸送・搬入・搬出・マテリアルハンドリングや、個別ブースの装飾・パネル制作等は含まれません。

〔オプション〕

- ・CES の観衆に適したブースデザイン&コミュニケーションツールの制作
- ・次回の CES 独自出展のための交渉サポート

〔特長 2〕

新たな出会いとビジネスが生まれる！

商談 & ネットワーキング

投資家や海外企業、プレスと親しくなれるミートアップへの参加、商談スペースや専用ラウンジの利用等、商談を進めるための環境も JAPAN TECH の出展に含まれています。

〔基本サービスの内容〕

- ・出展者や協賛企業の懇親会（ミートアップ）
- ・Sands Expo に隣接するザ・ベネチアンのスイトでの商談スペース利用（コーヒー付き）
- ・CTA 専用ラウンジの利用

〔特長 3〕

国内外でプレゼンスが高まる！

PR・コミュニケーション

JAPAN TECH 公式サイトをオープン。会期前や会期中の出展告知・紹介、各種イベントの募集のほか、会期後のプレス、投資家、海外企業からの問合せの管理なども可能です。出展企業との共同により、リーズナブルにコミュニケーション活動をおこなう事ができます。また、プレスとリレーションを深めたい得意先には、オプションでプレスプロモートやプレスツアーも可能です。

〔基本サービスの内容〕

- ・WEB サイトでの企業・出展紹介
- ・CES 運営団体 CTA が管理するプレスリストへの共同リリース配信（国内外のプレスを含む）
- ・JAPAN TECH 主催の CES2018 キックオフミーティングへの参加
- ・JAPAN TECH 主催の CES2018 報告会への参加

〔オプション〕

- ・プレスプロモート
- ・プレスツアー

■ JAPAN TECH PROJECT とは

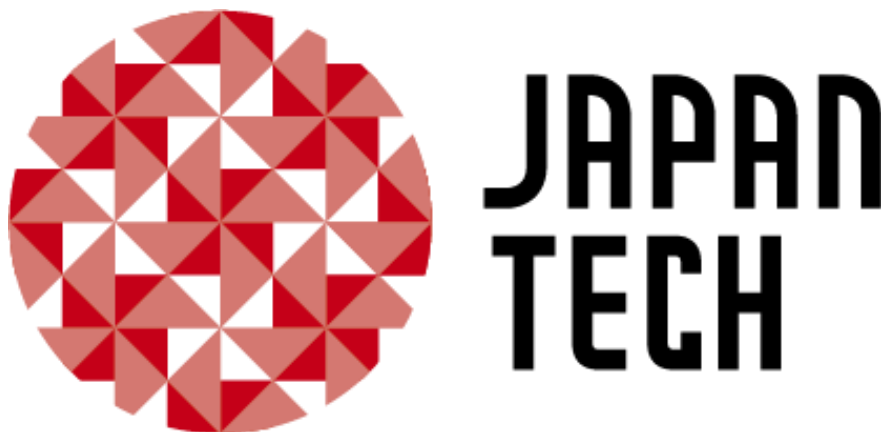
「日本の技術力を世界に届けたい」

「テクノロジーの未来を担う日本企業が生まれてほしい」

という想いをもちた企業が集結し、プロジェクトがスタートしました。

JAPAN TECH PROJECT を通して、一つでも多くの日本企業が、グローバル舞台に立って日本の革新的な技術を発信し、同時に、世界における最新トレンドを五感で感じ、さらに、新しいビジネスパートナーとの出会いにつなげて頂きたい、という願いを込めて企画が進められました。本プロジェクトが、企業の海外進出の後押しとなり、それが、“JAPAN”ブランドの再活性化に、また、未来の日本のテクノロジーのさらなる発展につながることをめざしています。

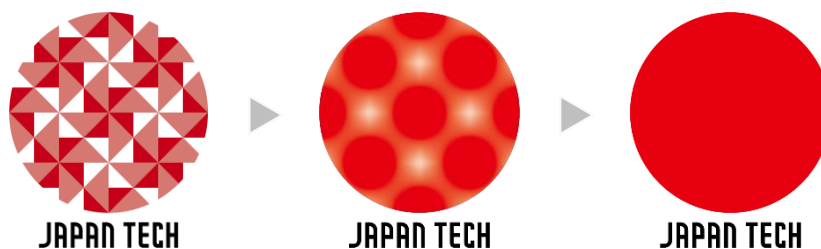
JAPAN TECH LOGO -----



JAPAN TECH ロゴは「風車」をモチーフとしています。

CES に出展した日本企業が、世界の風を感じて回り始め その力で自らも回り、世界に対して新しい風を送りこむ 自立した存在になってほしいという思いを込めています。

風車の連続は共同によって生まれる力があることを示し、 モーションで風車が回ったり、色合いを様々に変えたりと ひとつの型に捉われない有機性・柔軟性を表現しています



■ PROJECT 推進メンバー“TEAM JAPAN TECH”

株式会社大広

<https://www.daiko.co.jp/>

The logo for DAIKO, featuring the word "DAIKO" in a bold, blue, sans-serif font.

大広は、日本全国およびアジアに拠点をもつ総合広告会社です。次世代のマーケティングソリューションパートナーとして、幅広い業種のクライアントの企業課題の解決やコミュニケーション戦略施策の立案・実施に貢献します。本活動のエンジンとなってプロジェクトを盛り上げ、日本のテクノロジーの開拓・育成をめざします。JAPAN TECH では、プロジェクトの企画・推進やブランディング、出展者のコミュニケーションの支援を担います。

株式会社クリエイティヴ・ヴィジョン

<http://www.creativevisionworld.com/>



クリエイティヴ・ヴィジョンは、米国を中心として、国際展示会で年間 50 件以上の出展を手掛け、日本企業の海外出展をサポートする専門会社です。本年、日本初・日本で唯一 CES 公認の販売代理店となり（2017 年 7 月時点）、一般販売に先行して JAPAN TECH のスペースを確保しました。先進性を武器に「世界の先駆け」となる企業が JAPAN TECH を一つの踏み台として羽ばたくことを願っています。JAPAN TECH では、出展やイベントの企画・運営を担います。

株式会社フィラメント

<http://thefilament.jp/>



フィラメントはオープンイノベーションコンサルティングファームです。ハッカソンやセミナーなどのイベントの企画、オープンイノベーション的アプローチを用いた新規事業創出や、人材育成に関する社内制度の設計をサポートします。製造業を含むクライアントを多く有しており、ものづくりに関するプロジェクトにも多数関わっています。JAPAN TECH では、その知見を活かしてハードウェアスタートアップ企業が CES を通じて世界に羽ばたくためのサポート役を担います。

■ CESとは

CES（旧：Consumer Electronics Show※1）は、毎年1月、アメリカ、ネバダ州ラスベガスで開催される、最新のテクノロジーが集結する世界最大規模の展示会です。1967年に家電製品の見本市としてスタートして以来、2017年に50周年を迎えたCESは、数々の革新的な新製品を世界中へ発信してきました。当初は、テレビやビデオ、AV（音響・映像）機器を中心とした企業が最先端技術を競っていましたが、近年、テクノロジーの急速な進化によって業界の垣根がなくなりつつあることから、自動車産業をはじめとする多様な産業分野での最先端テクノロジーの発表の場となっています。それらの技術は確実に近い将来我々の生活やビジネスに深く関連するものが多く、メディアの扱いも毎年大きくなっています。もはや、CESで発表されるテクノロジーと無縁な業界はないと言ってよいほど、その規模と影響力は拡大の一途にあります。

※CESは、「Consumer Electronic Show」という名前の由来からわかるように、当初は家電分野を対象としていたが、展示規模や領域の拡大に合わせて、略称のCESを正式ブランドとしている。主催者団体の名称も2015年に米家電協会（CEA: Consumer Electronics Association）から米民生技術協会（CTA: Consumer Technology Association）に変更。

【CES2017 参加者実績】

[CES2017 参加者実績]

（出典：CES公式サイト「Attendance Audit Summary」 <http://www.ces.tech/CES/media/pdfs/CES-Audit.pdf> を加工・編集）

CES2017 参加実績

	全体	米国	米国以外の海外	その他
参加者	109,498	72,290	36,672	536
出展者	67,321	46,148	20,999	174
メディア	7,460	4,856	2,548	56
参加総数	184,279	123,294	60,219	766

エリア別参加実績

	参加数	%	米国以外の参加数
北アメリカ	129,996	70.5%	60,219
南アメリカ	1,467	0.8%	32%
ヨーロッパ	16,126	8.8%	
中東/アジア	34,688	18.8%	日本の参加数
オセアニア	922	0.5%	
アフリカ	297	0.2%	4,680
その他	783	0.4%	
参加総数	184,279	100.0%	

カテゴリ別出展プロダクトTOP20

	出展数
コンピュータハードウェア&ソフトウェア	17,440
ワイヤレスデバイス	15,676
周辺機器	15,283
自動車用電気機器/自動車技術	14,570
スマートホーム/電化製品/エネルギーマネジメント	13,598
その他	12,161
オーディオ機器	12,106
ウェアラブル	12,059
テレコミュニケーション/インフラ	10,049
ビデオ	9,862
デジタルメディア/オンラインメディア	9,154
モバイルアプリ	9,059
eコマース	8,965
ハイエンド（高級）オーディオ機器/ハイレゾ	7,692
AR/VR	7,589
ヘルス&バイオテクノロジー	7,553
センサー	6,742
ゲーム	6,606
ドローン	6,549
3Dプリンタ	5,952

メディア露出

	露出件数	%
印刷媒体（新聞・雑誌）	12,271	20.5%
放送（テレビ・ラジオ）	14,561	24.3%
オンライン	33,137	55.3%
全媒体	59,969	100.0%

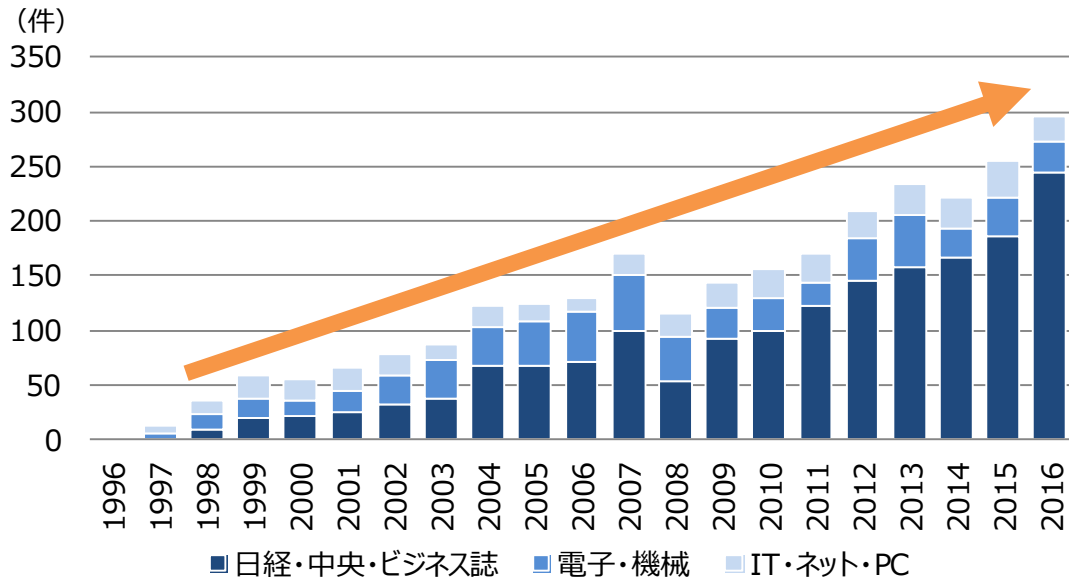
ソーシャルメディアリーチ

	露出	単位
ソーシャルメディアでのCESについての書き込み（#CES2017、@CES）	998,779	件
Snapchat Live Storyの閲覧	133.9 million	view
TwitterのCESの公式動画の再生	4.3 million	view
CES公式ハッシュタグ#CES2017を含むCESでのInstagram上の画像シェア	39,000	件（画像数）

【日本国内におけるCESへの注目度の高まり】

[CESに関する記事露出件数の推移]

(出典：日経テレコンのデータを加工・編集)



以上